

2005年10月24日発行

スポーツ史 学会だより

第78号

スポーツ史学会事務局

〒989-1698 宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18

仙台大学 中房研究室 気付

E-mail: ts-nakafusa@scn.ac.jp

<http://www.soc.nii.ac.jp/jssh/index.htm>

I. 事務局報告

1. スポーツ史学会第19回大会の開催

本年度の学会大会は10月9・10日に、ルブラ王山(名古屋市)を会場に開催され、60余名の参加がありました。第1日目は6題の一般発表があり、その後行われた懇親会とともに、盛会のうちに終了しました。第2日目は4題の一般発表(うち1題は中止)のあと、シンポジウム「障害者スポーツのこれまで・これから」が開催されました。野々宮徹会員の司会で、寺田恭子氏、藤田紀昭氏、高木勇夫会員による発表が行われ、現場の課題や歴史的展望など、多様な視点が提起されました。

2. 平成17年度(第19回)総会について

平成17年度総会は、10月10日のシンポジウム終了後、午後2時35分から開催されました。総会の内容について以下にご報告します。

1. 会長挨拶

2. 議長選出(掛水通子会員が選出されました)

3. 報告事項

1) 会況報告(庶務会計担当理事)

8月31日現在の会況について、下記の通り報告がありました。

会員総数233名 正会員201名 学生会員31名

会費納入状況

2005<平成17>年度納入者数 109名

2004<平成16>年度未納者数 39名

2003<平成15>年度未納者数 23名

2002<平成14>年度未納者数 4名

会費収入総額 948,000円

2) 2005(平成17)年度事業・会計中間報告について

(庶務会計担当理事)

総会配布資料に基づいて庶務会計担当理事より今年度の事業・会計中間報告が行われました(4ページ【資料1】参照)。

3) 編集委員会報告(編集委員長)

編集委員長より「スポーツ史研究」第19号には、原著論文5篇、研究ノート4篇、資料1篇の投稿があり、現在、審査を継続中。3月末日までに発行するため、編集作業を鋭意進めていることが報告されました。また、巻末に掲載する「会員活動報告書」(平成17年度修士・博士論文を含む)のための用紙を「学会だより」第79号(12月発行予定)に同封するので、記入のうえ返送してもらいたい旨も付け加えられました。

4) 会報「ひすぼ」について(企画担当理事)

企画担当理事より、「ひすぼ」の発行状況について、61号は発行済みであること。62号は11月中旬、63号は年度内に発行予定であることが報告されました。

5) 次期学会大会について

学会担当理事より、来年度、第20回大会の当番校について、理事会の審議の結果、大阪学院大学(松本芳明会員)に決定したことが報告されました。開催時期は、12月2日(土)・3日(日)を予定しています。

4. 審議事項

1) 2004(平成16)年度事業・決算報告について

(庶務会計担当理事・監事)

①2004年度事業報告

- | | |
|---------------------------|----|
| (1)スポーツ史学会第18回大会の開催 | 1回 |
| (2)機関誌「スポーツ史研究」第18号の開催 | 1回 |
| (3)会報「ひすぼ」(58,59,60号)の発行 | 3回 |
| (4)学会だより(73,74,75,76号)の発行 | 4回 |
| (5)会員活動報告の発行 | 1回 |

2004年度開催会議

- | | |
|-----------------------|----|
| (1)総会 | 1回 |
| (2)理事会(第79,80,81,82回) | 4回 |
| (3)編集委員会 | 2回 |

②2004年度 決算報告

総会配布資料に基づき、庶務会計担当理事より昨年度の決算報告が行われました。つづいて中村監事より、会計原簿他の関係書類を監査した結果、平成16年度の学会会計ならびに「20周年記念事業積立金」収支に関して適切に処理されていることが報告されました。

審議の結果、平成16年度学会決算報告書および「20周年記念事業積立金」収支決算報告書が提案どおり承認されました(5ページ【資料2-1】、6ページ【資料2-2】参照)。

2)2006(平成18)年度事業計画・予算案について

(庶務会計担当理事)

総会配付資料に基づき、庶務会計担当理事より、来年度の事業計画および予算案が提案されました(7ページ【資料3】参照)。審議の結果、提案どおり承認されました。

3)20周年記念事業について(企画担当理事)

これまでの経緯と記念事業の骨子について、松本企画担当理事より、説明がありました。その後、主となる3つの事業の担当より、それぞれの事業について説明がありました。

①記念大会の開催

松本担当より、現時点で予定している記念大会の概要について説明がありました。

②記念誌の発行

竹谷担当より、記念誌の編集方針については、今後、理事会で決定し、学会だよりで会員に周知することが説明されました。

③学会賞・奨励賞の設置

楠戸担当より、総会配布資料に基づき、楠戸担当より、学会賞・奨励賞設置の趣旨説明があり、規程と内規について提案がありました。審議の結果、提案どおり承認されました(8ページ【資料4-1】、9ページ【資料4-2】参照)。

5. 閉会の挨拶(会長)

3. 2005(平成17)年度会費納入のお願い

再々の確認になりますが、今年度会費(正会員8,000円、学生会員5,000円)の納入はお済みでしょうか。未納の際には、早めに会費をお振り込み頂きますようお願い申し上げます。会則第9条により、3年を越えて会費を未納の場合、会員資格を喪失しますので、ご注意下さい。

4. 日本学術会議刊行物について

(財)日本学術協力財団より『学術の動向』2005年8～9月号(目次を末尾に掲載)が、事務局に届きました。ご関心をお持ちの方は事務局までご連絡下さい。同誌の特集記事は、<http://www.scj.go.jp>からも閲覧できます。

II. 会員の動向

次の方の入会が承認されました。

福田啓子(フクダ ケイコ) 奈良女子大学大学院

酒井 啓(サカイ サトル) 東京学芸大学非常勤講師

次の方の退会が承認されました。

中山 厚生(ナカヤマ アツオ) 天理大学(～06.3.31)

III. 理事会報告

第85回理事会が総会に先立って、下記の通り開催されました。内容は総会の内容とほとんど重複しますので、要点のみを記載します。

期日:10月10日(祝・月) 12時05分～13時00分

場所:ルブラ王山 3階 末広の間

出席:稲垣正浩、松本芳明、小田切毅一、楠戸一彦、

高橋幸一、竹谷和之、中房敏朗、松井良明、三井悦子、山本徳郎

欠席:荻浩三、船井廣則

[報告事項]

- 1) 会況報告
- 2) 「スポーツ史研究」第19号の編集進捗状況について
- 3) 「ひすぼ」第62号の編集進捗状況について
- 4) 「機関別認証評価に係わる専門委員」(大学評価・学位授与機構)の選考結果について
- 5) その他

[審議事項]

- 1) 第84回理事会議事録の承認について
- 2) 新入会員の承認について
- 3) 平成17年度総会の議事進行について
- 4) 「学会賞・奨励賞」規程および内規について
- 5) その他

IV. 編集委員会報告

『スポーツ史研究』第18号において、誤記がありましたので、下記のようにご訂正下さい。

・17ページ

Gaduate School → **Graduate School**

・29ページ 及び 裏表紙

Cindy PAKU → **Cindy PARK**